



令和2年度 7月号

# 和田中だより

多摩市立和田中学校 HP アドレス <http://schit.net/tama/jhwada/>



## 人の心に花を咲かせる人になる—得意なことが見つからない君へ

校長 加納 一志

学校が再開され、ひと月が経ちます。分散登校から一斉登校に移行し、40分×7コマ授業の学校生活も3週間目を迎えました。少しずつ新しい学校生活リズムに慣れ始めています。夏季を迎えて、感染リスク軽減と熱中症防止の指導、学びの保障を進めながら、心と体のケアに努めたいと思います。先日6月27日(土)の1、2年保護者会には多くの方にご出席いただき、ありがとうございました。7月4日(土)には、5組と3年生の保護者会を予定しています。どうぞよろしくお願いたします。

さて、昨秋のある新聞の投稿欄に、次のような内容が掲載されていました。

息子よ。己の得意とすることで、人の心に花を咲かせる人になれ。～(中略)～得意とすることがない。だから、様々な勉強をするのだ。

父親が若い息子に送った言葉の一部です。この記事を読み、深く考えたことがあります。学校の教育活動が一部制限されながらも少しずつ再開できている今は、改めて学ぶ意味や活動の意義を見直してみるチャンスであるということです。昨年度末からの臨時休業期間が、自分を見つめる機会になった生徒も多く、自分の興味・関心に気付いたり、読書ができたりしたことで進路・将来に向けた考えが深められたようです。何に興味・関心があるのか、自分の得意なことや強みは何であるのか、中学時代に明確にするのは難しいことです。生き方を見つけている時期、迷いながら得意とすることを探っている時期です。だからこそ、様々なものの見方や考え方を学び知ることが大切になるのだと思います。生徒のみなさんの学習や進路を支える委員会・行事、部活などの活動は、限られた条件の中でどのようにしたら豊かに進められるか考え、いっしょに創り出しましょう。今日は、第1回定期考査(7/15～17)の2週間前です。各教科のテスト範囲も配布されました。今は、得意な教科や好きな分野がないと思っても、やれるだけの学習に挑戦してみましょう。

### コラム—ちょっといい話

- ◎ 先日、東寺方小学校の伊藤智子校長先生と地域の方からお電話をいただきました。それぞれにいただいたお電話でしたが、同じ内容でした。登校途中の小学生が転んで泣いていたのを、「WADA」と背中に書かれたジャージを着た2人の生徒が面倒をみていたという内容です。2人の生徒は「遅刻しないように急がなくちゃ」と言って和田中に走って向かったそうです。2年生の女子生徒でしたが、遅刻せず登校できました。この話を聞いた教職員の表情に花が咲いたような明るさが生まれました。お電話をいただきました伊藤校長先生と地域の方に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。
- ◎ 図書室も感染予防の対策を取りながら段階的に開館しています。先週は、昼休みの各学年フロアーに週1日移動図書室を設置。図書室への来室ではなく出張図書室です。また、今週は図書室を学年ごとに週1日昼休みの開室もしています。昨日まで4日間の貸出数は194冊でした。



移動図書室

## 学校の新しい生活様式について

- 教室やトイレなど生徒等が利用する場所のうち、特に多くの生徒等が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、1日1回以上消毒液を用いて清拭します。また、生徒が持参した携帯用の消毒液や除菌シートの使用も認めています。
- 熱中症予防としてエアコンを使用すると同時に、新型コロナウイルス感染症の感染予防として教室の換気を行います。換気の際は、2方向の窓を10cm以上同時に開け、5～10分程度の換気を60分間に2、3回行います。



登校時の健康観察



消毒作業



暑さ対策のミストシャワー



図書室は密を避けるために、学年ごとの利用としています。



入室前の手洗い

- 廊下にソーシャルディスタンスやトイレ待機場所の表示をしています。



図書室への道筋表示

## 東京都中学校英語スピーキングテスト事業について

東京都教育庁から、新型コロナウイルス感染症対策による教育活動への影響等を踏まえ、スケジュール変更の通知がありました。

(1) 令和2年度については、令和2年9月及び10月に予定していた都内全ての公立中学校を対象とした8万人規模の確認プレテストを取りやめる。(現中学3年生)

(2) 事業計画の全体を令和3年度以降に順次繰り下げる。

- 令和3年度に確認プレテストを実施する。(現中学2年生)
- 令和4年度にスピーキングテストを本実施する。(現中学1年生)

※都立高校入学者選抜でテスト結果を活用(予定)